

図書館だより



NO.311 2024年4月号
(2024年4月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話 (0829) 20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>



レファレンス事例を公開しています

はつかいち市民図書館には、皆さまの調べもののお手伝いをする（レファレンス・サービスといいます）、相談カウンターがあります。

相談カウンターでは日々、「この本はどこにありますか？」「こういう内容の本はありませんか？」「〇〇について調べているのですが、〇〇に関する記事が載っている本はありますか？」といった、さまざまな相談が寄せられています。

これまで調査した事例の一部は、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築しているレファレンス（調べもの相談）のデータベース「レファレンス協同データベース」(<https://crd.ndl.go.jp/reference/>)に登録し、公開しています。

ホームページのTOPページ及び、全館共通のお知らせページにもリンクが貼ってありますので、ぜひご覧ください。



レファレンス協同データベース
はつかいち市民図書館レファレンス
事例ページ QR コード

----- 今月の展示 -----



《中央展示》

『知っておきたい

自閉症・発達障がい』

毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日～8日は発達障害啓発週間です。

年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、それぞれが尊い存在です。

かけがえのない存在に心を寄せる機会として、「自閉症」や「発達障がい」に関する資料を手にとってみてください。

《企画展示》

『Aloha 🌴 Hawaii』

令和6年4月15日（月）に、ハワイ州ハワイ郡と廿日市市は、姉妹都市提携を結びます。

観光地として有名なハワイですが、改めてその魅力について知ってみませんか。ガイドブック、フラダンス、ウクレレなどハワイに関する本を集めて展示しています。

《テーマ展示》

『アジアトライアスロン選手権 (2024/廿日市)』

令和6年4月21日（日）廿日市市役所周辺特設会場で、アジアトライアスロン選手権（2024/廿日市）が開催されます！

トライアスロンに関する本を集めて展示しています。

展示期間：3月29日(金)～4月24日(水)

さくらの小部屋 第51回

みなさん、こんにちは！

はつかいち市民図書館広報担当のはつかいちさくらです🌸

新年度になりましたので、改めて私が担当している はつかいち市民図書館のX (旧 Twitter) の紹介をします！

はつかいち市民図書館のX (旧 Twitter) では、図書館のイベント、利用案内、新しく入った本の紹介などの情報を定期的に発信しています。初めて知った方はぜひ！この機会にフォローしてみてくださいね～♪



はつかいち市民図書館
X (旧 Twitter)
QRコード



スマートフォンで見たときは、お知らせの一番下に表示されます。



新しく入った本(一般書)

図書館に新しく入った本の一部を紹介します。

- 『週刊朝日 101 年史』「週刊朝日 101 年史」プロジェクト／著 朝日新聞出版 051.6 シ
- 『沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う』山船晃太郎／著 新潮社 B202.5 ヤ
- 『うっかり自転車で日本一周していた』河瀬敏樹／著 幻冬舎メディアコンサルティング 291.0 カ
- 『アサーション・トレーニング』平木典子／著 日本・精神技術研究所 361.4 ヒ
- 『60 歳からの新しい睡眠習慣』栗山健一／著 河出書房新社 498.3 ク
- 『漢字の動物苑』円満字二郎／著 岩波書店 811.2 エ
- 『もふもふの家族』ばんばばえりあ／著 日本ヴォーグ社 594.9 ハ
- 『読むワイドショー』パオロ・マッツァリーノ／著 筑摩書房 S699.6 ハ
- 『人生に効く寓話』池上彰／著 中央公論新社 S909.3 イ
- 『方舟を燃やす』角田光代／著 新潮社 F カ
- 『夏目家のそれから』半藤末利子／著 PHP 研究所 914.6 ハ
- 『独裁者の学校』エーリヒ・ケストナー／作 酒寄進一／訳 岩波書店 B942 ケ





なにかがはじまる
なにかをはじめる

スタートの
春

おはなし会に参加しよう



はつかいち市民図書館には、定例のおはなし会が3つあるのを知っていますか？

- ①乳幼児対象のちいさいこのためのおはなし会
【第1・3金曜日 10:30~、11:00~】
- ②幼児から小学校低学年対象のおはなし会
【第2・4土曜日 10:30~】
- ③5歳~大人対象のストーリーテリング「おはなしたまてばこ」
【奇数月第3土曜日 10:30~】

定員等の詳細は図書館だより
4ページやHP、館内配布の
おはなし会カレンダーを
ご覧ください。

参加して絵本やおはなしを楽しむのはもちろん、パパ・ママ・じいじ・ばあばには、絵本選びのヒントになるかも！



ミニブックトーク

テーマ 食べものはどこからやってくる？

わたしたちは毎日食べものを食べます。では、その食べものは、どうやって作られて、どこからやってくるのでしょうか？今回は、食べものの本を3冊紹介します。

おとうふってどうやって作るのかな？

商店街のおとうふやさんで、おけの水の中いっぱいに入っただいずを見つけたみっちゃんはびっくり！「こんなかたい まめが やわらい おとうふになるの？」

翌朝まだ真っ暗な中、みっちゃんがおとうふやさんに見学に行くと、昨日のだいずはふくらんでいて…。

やわらかくてあまいおとうふがどんなふうにできあがるかは、絵本を読んでたしかめてみてくださいね。

『おとうふやさん』 飯野まき/さく 福音館書店 E/I

わたしたちが食べているもの

世界の人々は「なにを食べているのでしょうか？」

モンゴルの人たちは、自分たちで育てた羊の肉やヤギのミルクをしばって作ったチーズを食べます。罌でつかまえた野生の生きものや虫を食べる国の人たち、生きものをなるべく殺さずに、限られた食べものだけを食べる宗教を信仰している人たちもいます。

日本で暮らすわたしたちは、肉や魚、野菜をお店で買って食べています。パック詰めされていたり、加工されていますが、わたしたちが食べているものも、たくさんの生きものの命に支えられて作られています。

『食べているのは生きものだ』 森枝卓士/文・写真
福音館書店 383/円

おいしい給食のうらがわ

午前7時30分、みどり小学校の給食室のいちにちの始まりです。8人の調理員さんが力を合わせて作るのは、450人分のカレーライスとサラダ、ゼリー。

届けられたたくさんの材料は、新鮮かどうか、中に入っていないかどうか、細かくチェックします。調理した後も、味や温度、火の通りを確認したりと、みんなが安全においしく楽しく食べられるように、心をこめて作っているようすが伝わります。

みなさんの学校の給食室や給食センターでも同じように毎日の給食が作られているんですよ。

『給食室のいちにち』

大塚菜生/文 イシヤマアズサ/絵
少年写真新聞社 E/I



団体利用貸出について

はつかいち市民図書館では、廿日市市内に活動拠点のある団体（読み聞かせボランティア・学校・市民センター・児童会等）に団体貸出を行っています。利用をご希望の方はカウンターにおたずねください。

- 貸出対象 廿日市市内で読書活動を行う団体
- 貸出期間 2ヵ月
- 貸出冊数 200冊以内（※視聴覚資料は個人視聴用なので貸出できません）

また、既にご登録いただいている団体の方には、毎年4月1日以降に利用登録の更新手続きをお願いしています。カウンターにある「令和6年度団体貸出利用申込書」にご記入の上、提出してください。※利用カードを紛失した場合はご相談ください（カードの再発行は申し出があった日から2週間後以降に発行します）。

種類	公立学校・保育園・市民センター等公共施設	私立学校・福祉施設・民間施設等拠点のある一般団体	読み聞かせボランティア、読書会等の一般団体
必要なもの	特になし	施設の所在地が確認できるもの（郵便物等） ※更新時、変更がない場合は不要	代表者の住所が確認できるもの（免許証・保険証・郵便物等） ※更新時、変更がない場合は不要
活動内容の記入	記入不要	学校・幼稚園・保育園以外の団体は、要	要

4月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5 ◎	6
7	8	9	10	11	12	13 ☆
14	15	16	17	18	19 ◎	20
21	22	23	24	25 休館	26	27 ☆
28	29	30				



◎ ちいさいこのためのおはなし会

- 【対象】乳幼児
- 【定員】各回先着6組程度 ※整理券が必要です。
- 【時間】1回目 10時30分～
2回目 11時～

整理券は、相談カウンターで配布しています。

☆ おはなし会

- 【対象】幼児～小学校低学年
- 【時間】10時30分～

